

法学部カリキュラムマップ

大分類	他学部開講関連科目					地域専門科目	専門教養科目			専門科目														
対応 DP	法律又は政治に関する専門用語を用いて書かれた文章の内容を正確に理解することができる者。 法律又は政治に関する専門用語を用いて述べられた発言の内容を正確に理解することができる者。					法律又は政治に関する専門用語を用いて書かれた文章の内容を正確に理解することができる者。 法律又は政治に関する専門用語を用いて述べられた発言の内容を正確に理解することができる者。			法律又は政治に関する専門的知識、思考方法を用いて、社会や地域、コミュニティの問題を発見し、その解決に貢献できる者。		法律又は政治に関する専門用語を用いて書かれた文章の内容を正確に理解することができる者。 法律又は政治に関する専門用語を用いて述べられた発言の内容を正確に理解することができる者。													
科目 分類	経済関連	対応 CP	経営関連	対応 CP	人文社会関連	対応 CP	地域研究科目群	対応 CP	専門教養群	対応 CP	演習群	対応 CP	実定法科目群				基礎法科目群	対応 CP	政治学科科目群	対応 CP	法学・政治学実技 科目群	対応 CP		
													公法	対応 CP	私法	対応 CP								
四年次 以上							リレー講座	②③			卒業論文 専門演習Ⅱ	④ ④			民法Ⅳ(契約) 民法Ⅴ(法定債権) 民法Ⅵ(親族) 民法Ⅶ(相続) 会社法	②③ ②③ ②③ ②③ ②③								
	財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 地域経済学Ⅰ 地域経済学Ⅱ	① ① ① ① ① ①	流通システム論 リテール・マーケティング論 国際商務論 税務会計論	① ① ① ①	文化人類学 教育社会学 社会心理学	① ① ①					専門演習Ⅰ	④	行政法Ⅱ(救済法) 刑事訴訟法 少年法 刑事政策論 犯罪学	②③ ②③ ②③ ②③ ②③	手形・小切手法 民事訴訟法 民事執行・保全法、倒産法 企業法務 労働法Ⅱ	②③ ②③ ②③ ②③ ②③	法哲学	②③	行政学 国際政治 政治思想史 国際組織論	②③ ②③ ②③ ②③	判例読解1～19 論文作法(法律)1～15 論文作法(政治)1～4 外国書講読1～19	②③ ②③ ④ ④ ②③		
三年次 以上	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 国際経済学Ⅰ 国際経済学Ⅱ 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 社会政策論	① ① ① ① ① ① ① ① ①	経営管理論 経営情報システム論 マーケティング論 銀行論 貿易総論	① ① ① ① ①							基礎演習Ⅱ	③	憲法Ⅱ(統治) 刑法Ⅱ(各論) 行政法Ⅰ(用法) 地方自治法 国際法 環境法 法政特別講義	②③ ②③ ②③ ②③ ②③ ②③ ②③ 【④】	民法Ⅱ(物権) 民法Ⅲ(債権総論) 労働法Ⅰ 消費者法 商法(総則・商行為) 会社法概論 法政特別講義	②③ ②③ ②③ ②③ ②③ ②③ ②③ 【④】	法制史 法社会学 法政特別講義	②③ ②③ ②③	政治学 政治過程論 政治外交史Ⅰ 政治外交史Ⅱ 法政特別講義	②③ ②③ ②③ ②③ 【④】				
	社会経済学入門	①	簿記原理 経営情報総論	① ①	家族社会学 地域社会学	① ①	松山大学の歩み	②③	法学入門 政治学入門	②③ ②③	基礎演習Ⅰ	③	憲法Ⅰ(人権) 刑法Ⅰ(総論)	②③ ②③	民法Ⅰ(総則)	②③								

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

法学部のディプロマ・ポリシーに掲げる人材の養成のため、以下のカリキュラム・ポリシーを策定し、それに基づく教育課程を編成し、実践します。

- ① 現代社会において活躍するために必要な教養や基礎能力を修得するために教養教育科目、言語文化科目、健康文化科目及び他学部の科目を配置します。
- ② 法律又は政治に関する専門用語を用いて書かれた文章の内容を正確に理解することができる人材を養成するため、法学部専門科目を配置します。
- ③ 法律又は政治に関する専門用語を用いて述べられた発言の内容を正確に理解することができる人材を養成するため、法学部専門科目及び基礎演習科目を配置します。
- ④ 法律又は政治に関する専門的知識、思考方法を用いて自分の考えを構築し、それを他者に正確に伝達することができる人材を養成するために法学部専門科目及び専門演習科目を配置します。